

第78回 開放型病床カンファレンス

医療関係者向

日時: 12月5日(木) 20:00~21:30
 場所: 松波総合病院 3階講堂
 テーマ: 『小児の気管支喘息・アレルギーについて』
 講師: 愛知医科大学医学部小児科学講座 教授 縣 裕篤先生

【看護師さん大募集】

- 日勤常勤・パート可 (勤務時間応相談)
- 託児所24時間利用可
- 医療スタッフも同時募集

「看護師就職支度金」制度をはじめました!

紹介会社を利用しないで直接当院へ採用申込みし、採用が決定した方に対し、支度金を支給する「看護師就職支度金」制度を新設いたしました。(当院規定に準ずる)

経験者: **60万円** 新卒者: **30万円**

かかりつけ医院のご紹介

岐阜市 茜部大川の こいし整形外科 リウマチ科クリニック



整形外科 リウマチ科
 リハビリテーション科
 休診日: 木・日曜日、祝日
 〒500-8282
 岐阜県岐阜市茜部大川 1丁目9番2
 ☎ 058-276-6600 FAX 058-276-6601

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	—
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	—	○	●	—

●は午後2:00~5:00 一:休診

院長: 小石 浩久

外傷一般から肩こり、腰痛、関節痛のほか、リウマチ、骨粗鬆症などの診療を行っております。リハビリテーション科では機能訓練や再発予防のためのトレーニング指導を行うなどそれぞれの患者様にあった優しい医療を心がけております。

岐阜市 柳津町の たけのうちクリニック



内科 外科
 整形外科 小児科
 休診日: 日曜日、祝日
 〒501-6122
 岐阜県岐阜市柳津町 高桑東3丁目16番地
 ☎ 058-279-5015 FAX 058-279-5076

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後 3:30~ 6:30	○	○	—	○	○	—	—

一:休診

院長: 竹之内 直人

乳幼児からお年寄りまで、幅広い範囲の医療を目指して、皆さまのお役に立ちたいと思っています。よろしくお願ひ申し上げます。

患者さまと 病院をつなぐ かけはし No.170 MATSUNAMI

まっなみ

2013 12

発行 社会医療法人西厚生会 松波総合病院

先生からのおはなし CLINICAL TALK

平成26年1月1日から、電子カルテが導入されます。

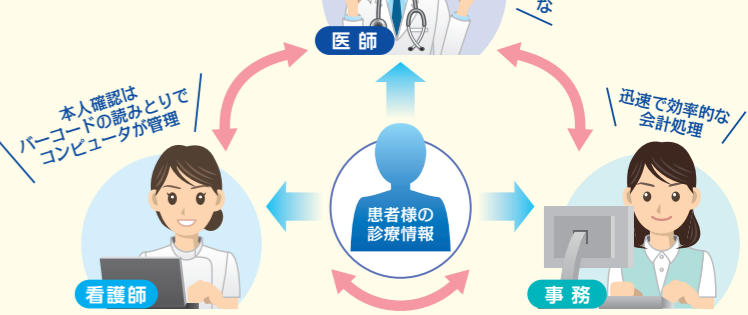
■ 電子カルテを活用し、患者様中心のよりよい医療の提供を目指します。

当院では、これまで手書きの診療カルテとコンピュータによるオーダリングシステムの併用を行ってまいりましたが、平成26年1月から電子カルテに移行します。

オーダリングシステムは採血検査や画像検査、投薬、予約業務などのオーダー機能だけでしたが、電子カルテはさらに既往歴、病状、経過、身体所見や治療方針など患者様のあらゆる診療情報をコンピュータで集中管理することにより、正確で迅速な業務が可能になります。電子カルテになると、コンピュータに直接入力して電子保存することになりますから膨大なカルテ収納スペースは不要で、長期間にわたって保存でき、遠隔地にもデータ転送して保存しておくことで大災害時のカルテ対策が可能となります。

電子カルテが導入されると患者様にとってもより受診しやすくなります。外来受付では、受付機に診察券で受付するとその日の検査や受診科などの予定表が印刷されますので、予定がわかりやすくなり検査忘れがなくなります。また、外来待合室では電光掲示板による順番案内も取り入れますので安心できます。診察室では、電子カルテで情報が集約管理されて一覧表示され、医師はよりの確かな治療ができ、患者様にとって同じ画面を見ながらのわかりやすいインフォームド・コンセントが受けられるようになります。また、人がカルテを持って運ぶ必要がないので、カルテ待ち時間の短縮になります。会計窓口では自動支払機が導入されます。診療後のオーダー情報やカルテ情報、入退院情報は電子カルテシステムと医事会計システム間で連動しており、迅速で効率的な会計処理ができます。病棟では、入院患者様の本人確認はバーコードの読みとりでコンピュータが管理します。諸検査や点滴、手術室でも逐次読み取りを行うことで、転記ミスや手書き等の誤読、患者取り違えや指示漏れなどの防止になり、医療の安全にも貢献します。

電子カルテによって 正確で迅速な 受診が可能に



■ 電子カルテは、チーム医療の強化にもつながります。

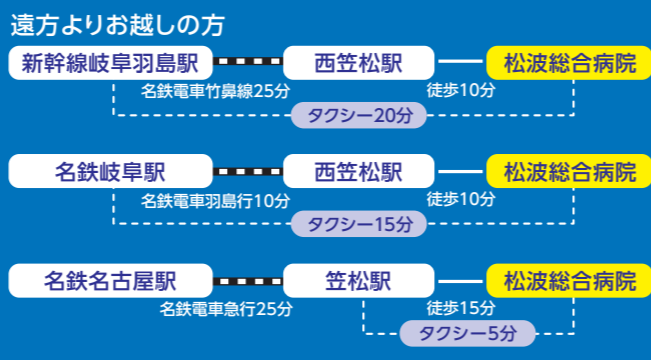
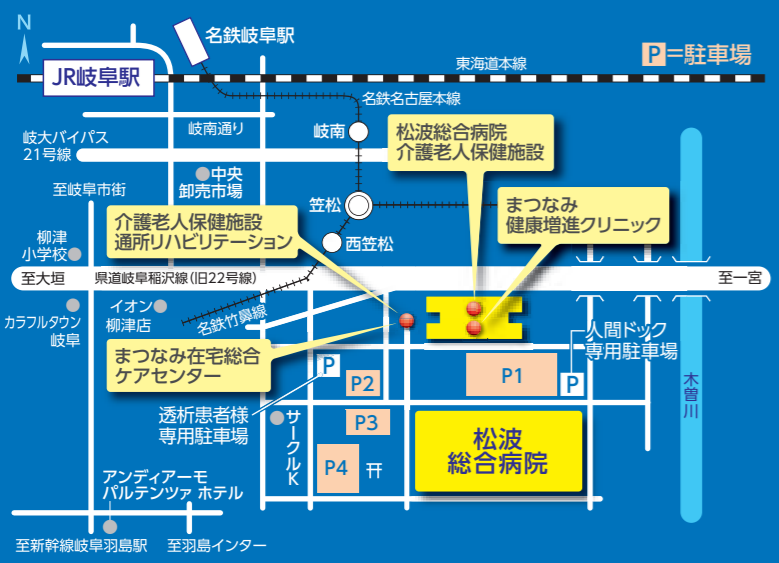
今、私たちはチーム医療を臨床の場で生かすよう積極的に取り組んでいます。これは1人の患者様に多職種の専門スタッフがチームをつかって知恵を出し合い、より良い医療を提供しようと取り組むものですが、院内すべてのスタッフ間で同じ情報を共有できる電子カルテはまさにその中心的役割を担うものとして期待されます。また、当院では、病診連携を最重要課題と考えています。周辺病院やかかりつけ医との診療カルテを通じた共通のネットワーク作りには電子カルテは欠かせないものであり、将来的には連携医から電子カルテに直接検査予約や各種指示を出していただくことも可能になります。

■ 情報漏洩、セキュリティ対策にも万全を期します。

電子カルテの導入に際しセキュリティ問題は重要な課題です。電子データ化することにより個人情報の流出、データの紛失等がないようコンピュータウイルスへの対策も含め慎重に検討しています。電子カルテ移行のため万全の体制を整えますが、病院スタッフが十分に電子カルテの扱いに慣れ、スムーズな運用ができるようになるにはしばらく時間がかかると予想されます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



松波総合病院 副院長・まっなみリサーチパーク 所長 情報システム管理委員長 林 慎
 専門分野: 内分泌・代謝学(糖尿病・脂血症)
 認定資格: 日本内科学会: 指導医・認定医 日本糖尿病学会: 研修指導医・専門医 日本人間ドック学会: 指導医・認定医・専門医・人間ドック 健診情報管理指導士(人間ドックアドバイザー) 日本病態栄養学会: 専門医・認定NSTコーディネーター 日本医師会認定産業医



お気軽にお問い合わせください。 ☎ 058-388-0111 http://www.matsunami-hsp.or.jp/ 松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

まつなみ訪問介護 ステーションの ご紹介

住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと。
そんな暮らしを、質の高い介護で支援します。

まつなみ訪問介護ステーションでは、専門的な知識と技術をもった介護の専門スタッフ(介護福祉士・介護士)が、支援を必要とするご利用者さんのお宅に訪問。支援が必要になってからも、できるだけ住み慣れたわが家で生活したいと願う方々の身の回りのお世話をしています。



サービス担当責任者
下條 瑞穂



まつなみの仲間みんな張り屋で、向上心のあるばかり。毎日、いい刺激をもらっています!

訪問介護ではこんなサービスが受けられます。

身体介護

身体に直接触れて行う介護で、利用者さんの日常生活の活動の能力向上や、生活意欲の向上のために行う支援サービスです。

- トイレやおむつ交換などの排泄の介助
- 食事や服薬の介助
- 洗面や身だしなみの介助
- 体位の変換や移乗の介助
- 入浴の介助や清拭
- 着替えの介助
- 通院・外出の介助

生活援助

身体介護以外の日常生活の援助を行います。

- 調理
- 洗濯
- 掃除
- 衣類の整理
- 生活必需品の買い物
- 薬の受け取り など

通院介助

病院などへ行く時の付き添い、交通機関への乗り降りや病院での受診の手続きの介助を行います。

介護、看護、リハビリの連携プレイで ひとりの利用者さんを支えています。

まつなみ訪問介護ステーションと同じフロアに訪問看護ステーションがあり、私たち介護スタッフと看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が一体となり、福祉、医療の両面からよりよいサービスが提供できることが当ステーションの強みです。たとえば、私たち介護スタッフは、入浴や清拭などで利用者さんの全身を観察する機会があります。そこで気になる症状や体調の変化があればすぐに看護師に連絡し、医療につなげるようにしています。逆に看護師からは、「○○さん、今こういう状態だから気をつけてね」という伝達があるので、訪問時には少しでも悪化を防ぐよう気を配って介護ができます。訪問介護、訪問看護、同じフロアで働くスタッフが密に連携し、ひとりの利用者さんを担当することはとても心強いことですし、仕事を通して色んな引き出しができるので、それを介護の現場で生かすことができるのがうれしいですね。

利用者さんの気持ちを最優先に、 心のこもった介護サービスをめざしています。

当ステーションでは、在宅で療養されている方がその人らしく、快適な生活を送れることを第一に考え、利用者さん個々のニーズや生活



習慣に応じたサービスを提供できるように心がけています。たとえば食事や掃除、洗濯の仕方ひとつとっても、お一人おひとり違います。そのため、利用者さんやご家族とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことから始めています。また、私たち介護スタッフの目標は、利用者さんの持てる能力を最大限引き出してあげること。できないことを介助するだけでなく、利用者さん本人のできることを増やし、生き生きとした生活を送れるようなサービスが提供できたらと思っています。私自身、介護の仕事について3年。もちろん、大変なこともありますが、その大変さ以上に、教えられること、学ぶことが多く、誇りをもって仕事に臨んでいます。利用者さんから「ありがとう」と言われたり、信頼関係が少しでも築けたかなと感じられることが何よりうれしく、やりがいを感じます。



食事や服薬の介助、口腔ケアも行っています。



介護士
志知 由美子

訪問介護についてのお問い合わせは
まつなみ訪問介護ステーション
TEL 058-388-2152

小池作業療法士の 作業療法編 リハビリ **まめ** 知識

「もっと楽に呼吸して生活を送りましょう」 ～息苦しさをやわらげる日常生活動作～

呼吸機能に障害を有する方は、息苦しさが常にあるか、動作時に生じるにより日常生活活動に制限を抱えています。そこで今回、呼吸困難感を生じやすい動作と呼吸困難感の軽減を目的とした動作の工夫を紹介します。

呼吸困難感を生じやすい動作

- 腕を肩の高さより上に挙げる。
- 腹部を圧迫する動作。
- 力んだ際などの息をこらえる動作。
- 空間での腕の頻回な反復運動。

呼吸困難感の軽減を目的とした動作の工夫

服を着替える動作

Tシャツなどの、かぶるタイプの衣服の場合、腕を肩の高さより上げないように、はじめに両腕に袖を通し、次に頭を通す。ズボンや靴下、靴を履く場合、しゃがみ込んだり、足を深く曲げるなど、腹部を圧迫しないように椅子に座って行う。

排泄動作

和式トイレではなく洋式トイレを利用する。排便時は息をはきながら徐々に腹圧をかける。

入浴動作

頭をお湯で洗う際、息を止めずにはきながら行なう。洗い場や脱衣所に椅子を用意し、動作が座って行えるように工夫する。

洗濯

肩の高さより腕が上がらないように、物干し竿の高さを低く設置する。

掃除

掃除機をかけるとき、腕の動きだけでかけるのではなく、体重移動に合わせてかける。

前述した方法を普段の生活に取り入れることで、息苦しさを緩和し、少しでも楽に日常生活を過ごしていただきたいと思います。

中山薬剤師の 知ってトクする くすりのお話

日本人の コンプライアンス(服薬遵守率)

皆さんは薬を毎日きちんと飲んでいますか？
私たちの住んでいる日本はとても医療保険の充実した国です。とてもお金のかかる治療も国からの補助のおかげである程度の負担で受けることができます。とても恵まれた環境ですが、その分気軽さが仇となってコンビニ受診などの問題もよく耳にするようになりました。

同じことは薬でもあり、飲み忘れや自己判断での服用中止が問題となっています。

ある製薬メーカーが飲み残しや飲み忘れについて調査したところ、7割以上の患者さんが薬をきちんと最後まで飲みきれず、余らせてしまっていたそうです。また先進国の中で菌やウイルスを殺す薬を指示通りに飲んでいるか調べた結果、日本は2番目に悪いというデータでした。日常患者さんとお話ししてみても、これらの結果にはちょっと納得するところもあります。

どんなにいい薬を使ってもきちんと飲まなければ効果は期待できません。症状が無くなったから、効果が無いかから薬をやめるといった自己判断はとても危険です。薬はきちんと医師の指示通り飲む心がけましょう。病気を治すのは自分自身であるという意識が大切です。

まつなみ information



笠松町長より 感謝状をいただきました。

このたび、社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院では、「笠松町江川地内サッカー場整備事業支援」として笠松町に寄付をさせていただきました。2013年10月29日、これに対し、笠松町長より感謝状をいただきました。

